

第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画から見える主な課題

※1か月あたりの利用者数及び利用時間

サービス名	単位	2018年度			2019年度			2018年度と2019年度 実績値増減率(%)	【参考】現時 点での市内事 業所数	評価と課題
		計画値 (A)	実績値 (B)	B÷A(%)	計画値 (A)	実績値 (B)	B÷A(%)			
居宅介護	人	122	122	100%	123	117	95%	▲4%	17	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は概ね計画値通りであるが、利用時間数は計画値をやや上回っている。 ● 人材不足や男性ヘルパーが少ないことにより、利用したい時間帯、曜日に利用できない。
	時間	1,300	1,338	103%	1,310	1,410	108%	5%		
重度訪問介護	人	9	7	78%	9	9	100%	29%	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用時間が計画値を大きく下回っており、2か年で減少傾向がみられる。人によって利用時間の差が大きい。 ● ヘルパーの人材不足がある状況で、ヘルパーが長時間拘束され、報酬単価が安いことから、利用者の希望どおりに受けられない。
	時間	932	605	65%	932	404	43%	▲33%		
生活介護	人	212	229	108%	212	230	108%	0%	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数、利用人日ともに概ね計画値通りである。 ● 創作活動はできるが、入浴ができる事業所が少ない。
	人日	4,221	4,361	103%	4,221	4,334	103%	▲1%		
自立訓練（生活訓練）	人	5	6	120%	6	7	117%	17%	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は計画値を上回っており、利用人日も2018年度では計画値を上回っているものの2019年度では計画値を僅かに下回っている。 ● 事業所が市内に1カ所しかないことから、訓練内容が限定される。
	人日	79	101	128%	95	92	97%	▲9%		
就労移行支援	人	11	11	100%	11	10	91%	▲9%	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は概ね計画値通りであるが、利用人日は計画値を大きく下回っている。 ● 事業所が市内に1カ所しかないことから、支援内容や作業内容が限定され、一般就労先の選択肢が少なくなる。
	人日	122	94	77%	122	73	60%	▲22%		
就労継続支援（B型）	人	252	256	102%	255	274	107%	7%	16	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は計画値を僅かに上回っているが、利用人日は計画値を僅かに下回っている。 ● 日常生活の支援や受託作業が中心となり、就労準備性を高める支援ができていないため、福祉就労に留まっている。 ● 作業がやりがいとなっている高齢者が居場所的利用の目的も兼ねている。高齢障害者の居場所が、障害者支援以外にない。
	人日	4,468	4,338	97%	4,657	4,557	98%	5%		
福祉型短期入所	人	72	100	139%	72	99	138%	▲1%	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は計画値を大きく上回っている。
	人日	343	327	95%	343	352	103%	8%		
医療型短期入所	人	10	16	160%	18	11	61%	▲31%	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数、利用人日ともに計画値を大きく下回っている。 ● 豊岡病院では宿泊と伴う利用や週末の利用ができないため、医療的ケアが必要な障害児者は市外遠方の施設を利用しなければならない。
	人日	17	22	129%	25	19	76%	▲14%		
自立生活援助	人	4	0	0%	4	0	0%	—	0	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数の実績はゼロとなっている。 ● 需要はあるが、指定事業所がない。
共同生活援助	人	104	109	105%	109	118	108%	8%	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は計画値をやや上回っている。 ● グループホームは家賃助成や日常生活の支援があることから現入居者は地域で生活する気持ちにはなれないため、アパート等への地域移行が進んでいない。

サービス名	単位	2018年度			2019年度			2018年度と2019年度 実績値増減率(%)	【参考】現時 点での市内事 業所数	評価と課題
		計画値 (A)	実績値 (B)	B÷A(%)	計画値 (A)	実績値 (B)	B÷A(%)			
施設入所支援	人	115	118	103%	114	117	103%	▲1%	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は計画値を僅かに上回っている。 ● 入所者の高齢化、重度化により地域移行が進んでいない。
計画相談支援	人	128	122	95%	136	139	102%	14%	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数は概ね計画値通りであるが、2か年で増加している。 ● 飽和状態であり、新規の契約が難しい。 ● すでに契約している利用者であっても、相談員が多忙であり、支援が行き届かない場合がある。
児童発達支援	人	84	74	88%	84	75	89%	1%	7	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数、利用人日ともに計画値を下回っている。 ● 健康増進課による早期療育の取組みにより、今後、サービス提供事業所の受入状況を注視する必要がある。
	人日	336	224	67%	336	320	95%	43%		
放課後等デイサービス	人	166	179	108%	180	202	112%	13%	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用人数、利用人日ともに計画値を上回っている。 ● 重度心身障害児を受け入れてくれる事業所が少なく、保護者の希望に合わせた利用ができないことがある。
	人日	889	1,074	121%	965	1,247	129%	16%		
基幹相談支援センター等機能強化事業	有無	有	有	—	有	有	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談業務が増加している中、人材の確保が難しく、利用者に寄り添った対応が難しくなっている。 ● 支援者支援において、経験のある事業所への対応が難しい。
手話通訳者・要約筆記者派遣事業	件	336	307	91%	348	527	151%	72%	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用件数は、2か年で増加している。通院の際の通訳が増えている。
レクリエーション活動等支援事業	人	1,190	1,222	103%	1,190	896	75%	▲27%	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加人数は、2か年で減少している。2019年度は、新型コロナウイルスの関係で3月に実施予定だったイベントが中止になり、計画値を下回った。